

- ・備・充実
- ・老朽化に伴う桜ヶ丘市営住宅の建替
- ・輝北ダム移転記念公園の整備、都市公園等の施設の改修
- などを実施します。

6 自然と環境を大切に
するふるさとづくり

- ・環境にやさしい循環型社会の確立や、環境生態系の保全、地球温暖化対策などに取り組む必要があることから、
- ・環境保全型農業の啓発活動など環境負荷の低減に配慮した農業の推進
- ・畜産経営に起因する環境汚染の防止
- ・水産資源の保護・培養のための藻場の保全活動や造成、魚礁の設置に対する支援
- ・環境負荷の少ない低公害車の公用車導入
- ・太陽光発電システム等の導入に対する補助
- などに取り組めます。

7 未来の郷土を担う
ひとづくり

- ・子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整え、地域の将来を担う人材を育成するため、
- ・学校規模の適正化を進めるための地区懇話会の設置
- ・小・中学校施設耐震化促進による児童生徒の安全と安心の確保
- ・田崎小学校校舎の増改築など、学校教育環境の基盤整備や教育改革を推進
- ・学習支援や部活動指導、環境整備など、教育活動に興味のある地域住民による「かのや学校応援団事業」の推進
- ・英語指導講師を小学校へ派遣する「かのや英語大好き事業」による、市全体の英語科教育の充実

- ・スポーツ・文化活動への支援
- など、豊かな人間性と生きる力を育むひとづくりに取り組めます。

8 人・モノ・情報を結び、
付加価値の高い
ネットワークづくり

- 平成23年春の九州新幹線の全線開業を踏まえた、交流人口の増加促進の取組として、
- ・「かのやばら園」を核とする、観光資源のネットワーク化による誘客促進
- ・修学旅行、民泊型教育旅行、体験学習などのグリーンツーリズムの受入体制の整備
- など、大隅地域の特性を市内外に発信するネットワークづくりに取り組めます。
- また、大隅地域全体の課題であり、今後の発展のための足掛かりとなる、
- ・東九州自動車道等の高速交通体系の早期確立
- ・薩摩と大隅半島を結ぶ山川く根占フェリーの本格再開

- ・物流拠点港としての志布志港の利活用策の検討
- などとともに、大隅定住自立圏の取組を各構成市町と連携しながら進めていきます。

また、桜島架橋については、鹿児島県の可能性調査において、事業費を上回る経済効果が見込まれるとの見解が出されたことから、今後の実現に向けた明るい兆しも見えてきています。

このような地域課題に、地域が一体となって取り組むことが、大隅地域全体の浮揚と発展に繋がることから、国や県、関係機関等と連携、協調しながら力強く牽引していきます。

むすび

私は、市民の「知恵とアイデア」を結集し、慣例にとらわれることなく、スピード感を持って、時代認識を共有しながら、「元氣な「かのや」づくり」を推進したいと考えています。

厳しい時代の中にあっても、みんなが笑顔で、「鹿屋に住んでよかった」と実感できるまちづくりに向けて、全身全霊を傾注する所存ですので、市民の皆さまのより一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲ 福岡での観光・特産品PR



▲ かのや英語大好き事業